

みどりの風 NO.71

投書箱を設置します

安心・安全のための透析医療への思い、

医師、スタッフさんへの思い

患者会活動への要望

あなたの日頃の思い 等々 ～お聞かせください～

「みどりの風」紙上で交流しましょう

— 例えば私 の今思う事 —

最近連日のトカラ列島の悪石島の地震、震度も弱の観測の時も。たびたびの揺れで住民の不安は募り、島外への避難も始まっている。なかには牛を置いていけないと苦悩する畜産農家も。専門家によればもともとトカラ列島は火山でできた島々で、地下にあるマグマが群発地震の原動力になっているらしい。とにかく透析中にもし大きな地震が起きたらと思うとクリニック3階での透析中の私たちは不安でいっぱいです。(大矢)

= 透析生活での Q&A =

シャントを長持ちさせるためには

① 穿刺位置はできれば毎回少しずつ変えましょう。

何回も使っている場所は刺すとき痛くなくまた刺しやすいので、どうしても同じ場所を希望するようになりますが、やがてその部分は固くなり、その他の場所は細くなって使いにくくなります。

② 体重増加をひかえめにしましょう

除水をするとう血圧が下がり、特に日頃から血圧が低い人やヘマトクリット値が高い人はつまりやすいので特に注意が必要です。

③ シャント感染を予防しましょう。

シャント部を清潔に、透析前に石鹸水で洗いましょう。

④ 毎日、朝シャントの流れ具合を自分で確認しましょう。

いつもより弱いとか、赤みや腫れ、痛みがある場合には要注意です。

スタッフに忘れずに申し出ましょう。(「透析を支えるQ&A」—メデカ出版)

ニュース

看護師の大高亜矢子さん

慢性腎臓病療養指導看護師専門資格を認定されました

岐阜県下で11人目の認定士さんだそうです。

私たち透析患者に対してその専門知識・技術を活かし、広めてご指導をお願いします。